

～がんばる船高生～ **ATTENTION!**

第62回 情報処理技能検定試験（表計算）初段に合格

本校では、希望進路の実現を図るために各種検定・資格の取得を奨励し、さまざまな支援を行っています。今回は「第129回情報処理技能検定試験（表計算）初段」に合格した前田文さん（3年 滝根中）に話を聞きました。

Q 検定を受けたきっかけを教えてください。

商業科の先生に進められて受験しました。以前、1級までは取っていたのですが、せっかくなので最上位級である初段にチャレンジしました。

Q どのような試験なのですか。

30分の制限時間で、売り上げデータの処理を行う試験です。Excelでいくつかのシートを作り処理して、制限時間ギリギリで完成させました。

Q 検定に向けてどのように学習しましたか。

先生が助言してくれた対策問題と、インターネット上に掲載されている過去問から、実際の試験に近い問題を解いて練習しました。1年生の時に授業でExcelとWordを学んだことに加え、もともと幼少期からパソコンに興味があったため、パソコン操作に慣れていて、日常的にパソコンを使用していることが対策になっていたのだと感じています。

Q 同じ検定を受験しようとしている人に向けて、アドバイスをしてください。

問題を見て、どのように自分が持っている知識や技術を組み合わせるかを考える力が必要です。また、処理時間短縮のためショートカットキーを活用することも大切です。対策問題を繰り返し、少しずつ短時間で処理できるようになりました。

Q 同時に取得した「実用英語技能検定準2級」、「第69回文章入力スピード認定試験（日本語）準2級」についても聞かせてください。

英検はパソコンの資格より、認知度が高いので、合格を祝ってもらえてうれしかったです。これからの時代は英語ができる必要があると思うので、英検の対策は一生懸命に行いました。テキストで勉強したり、電車の中で単語と文法を覚えたり、家でリスニングの対策をしました。特に学校では、先生に二次試験の面接の練習をしていただきました。Excelの関数なども英語なので、同時に勉強できていたかもしれません。

Q 今後はどのようなことに取り組んでいきたいですか。

将来、ネットワークエンジニアになりたいと思っています。そのために専門学校に行き、国家資格の「ITパスポート」や、情報処理技術者試験の最高位資格「ネットワークスペシャリスト」を取得できるように勉強したいと思います。



◆「EGAKU」プロジェクト

8月23日、船高アクティブリーダー育成プロジェクトの一環として「EGAKU」を実施しました。「EGAKU」とは、アーティストの谷澤邦彦さんが提唱した、人の創造性開発を促す体験型アートプログラムです。本校では「コミュニケーション能力（観察力・表現力・対話力・共感力）の育成」「自己認知力の向上」「多様な価値観との出会い」を目的に、生徒と教員の有志が参加しました。アート活動を通して、自分自身とじっくりと向き合うことができただけでなく、グループワークから友人の発想に刺激を得るなど、新たな発見があったように思います。自分の作品について他者に語ったり、他の人の作品について聞いたりすることで、自他との対話を通じた、深い学びができていたようです。美術的な思考力や、物の見方ができるようになっていました。初めての試みで不安もありましたが、完成した作品と撮った写真では笑顔が見られました。今後も楽しく学べる取り組みを学校全体で行っていききたいと思います。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...funehiki-h@fcs.ed.jp



一年の中で 私の一番好きいな月



Allison Clay
アリソン・クレイさん
(アメリカ合衆国
オハイオ州出身)
田村市に来て5年目

私は子どもの頃からずっと、一年の中で10月が一番好きな月です。その理由はたくさんありますが、その内のいくつかはアメリカでも日本でも同じです。皆さんも私と同じように10月が大好きならいいのですが、もし違う場合も考えて、10月が好きな理由を書いてみます。

一つ目は単純に、秋の味覚です。コーヒESHOPPからコンビニエンスストアまで、すべてがオレンジ色の色調に変わります。この色はアメリカではパンプキン（かぼちゃ）を表していますが、日本では、さつまいもを表しているの知りました。アメリカでパンプキンが大好きだったように、日本ではさつまいもが大好きになりました。コーヒESHOPPでさつまいも風味のコーヒーの販売が始まると、秋の味覚の温かな一口を求めて私は列の先頭に並びます。2番目の理由は情緒的で「ハロウィーン」があるからです。私の住んでいた地域では、10月末の屋外は寒すぎるので「トリック・オア・トリート」(お菓子をくれないといたずらするぞ)をハロウィーンの1、2週間前に行っていました。子どもの頃は、自分で選んだ衣装を着て、家々を回るのが大好きでした。一年に一晚だけ、小学生ではなく魔女や黒猫など自分になりたいものになることができました。大人になってからは「トリック・オア・トリート」に出かけることはなくなりましたが、その代わりに今度は自分が、衣装を着た子どもたちにキャンディーを渡す立場になりました。日本の子どもたちにもハロウィーンの楽しい経験をして

らうために、若草学園や英語学校でトリック・オア・トリートをしています。最後に、大好きな一番の理由は、10月になるとあまりクモを見かけなくなるからです。クモはとても怖いですが、おぼけ？なら大好きです。モンスター？もすばらしいです。でもクモは遠慮して、室内で落ち着いてさつまいも風味のコーヒーを飲みたいです。



広告欄 Advertisement

有料広告募集中

問い合わせ…総務部 総務課 (☎0247-81-2117) へ